

青島北中学校で株式会社タカトミーグループの社員によるSDGsのオンライン授業を開講！



5月24日～26日に青島北中学校で全学年を対象に、株式会社タカトミー社員によるオンライン授業「みんなで作るSDGs人生ゲーム」が開講されました。

タカトミーグループにおけるSDGsの取り組みや、人生ゲームのマス目づくりを通してSDGsとは何か、なぜSDGsが必要なのかを知ることができる授業となっています。

本年度より青島北中学校では、SDGsにもとづいて専門委員会ごとに北中版SDGsを作成していますが、SDGsの考え方が生徒の間で浸透していないことが課題でした。

そこで、株式会社タカトミーのオンライン授業を通して、SDGsへの理解を深め、専門委員会の活動がよりよくなるようにとこの授業が開講されました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



北中版 SDGs



1 時間目



色カードでSDGsクイズに答えたり…

カメラとマイクを使うことで、タカトミーの社員の方と意見を交わしました！



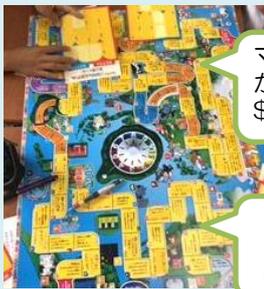
2 時間目



マス目作りをしたよ！

生徒の考えたマス目

スーパーで買い物をした。
エコバックを使った。
\$6,000 もらう



マスクをつけなかった。
\$5,000 はらう

山のごみをひろった。
\$1,000 もらう

生徒の感想

他の授業や生活の中でSDGsを学んだことがあり、自分でもできることをしていると思っていたけれど、タカトミーさんの行動力を見たら、自分にはもっとできることがあるし、それをやらなければいけないと思った。

「誰一人残さない」というのはとても難しいと感じた。それでも17達成まであと9年しかないのだから、他人ごととして聞き流さず、自分自身のことだと思い、できることはなるべくして協力したいと思った。

蛇口をひねったら水が出たり、学校に行けたりすることは、当たり前にはできないのではないんだと感じた。少しでもこういうことができる国を増やすために、自分ができることを一生懸命やり、なるべくSDGsを達成したいです。